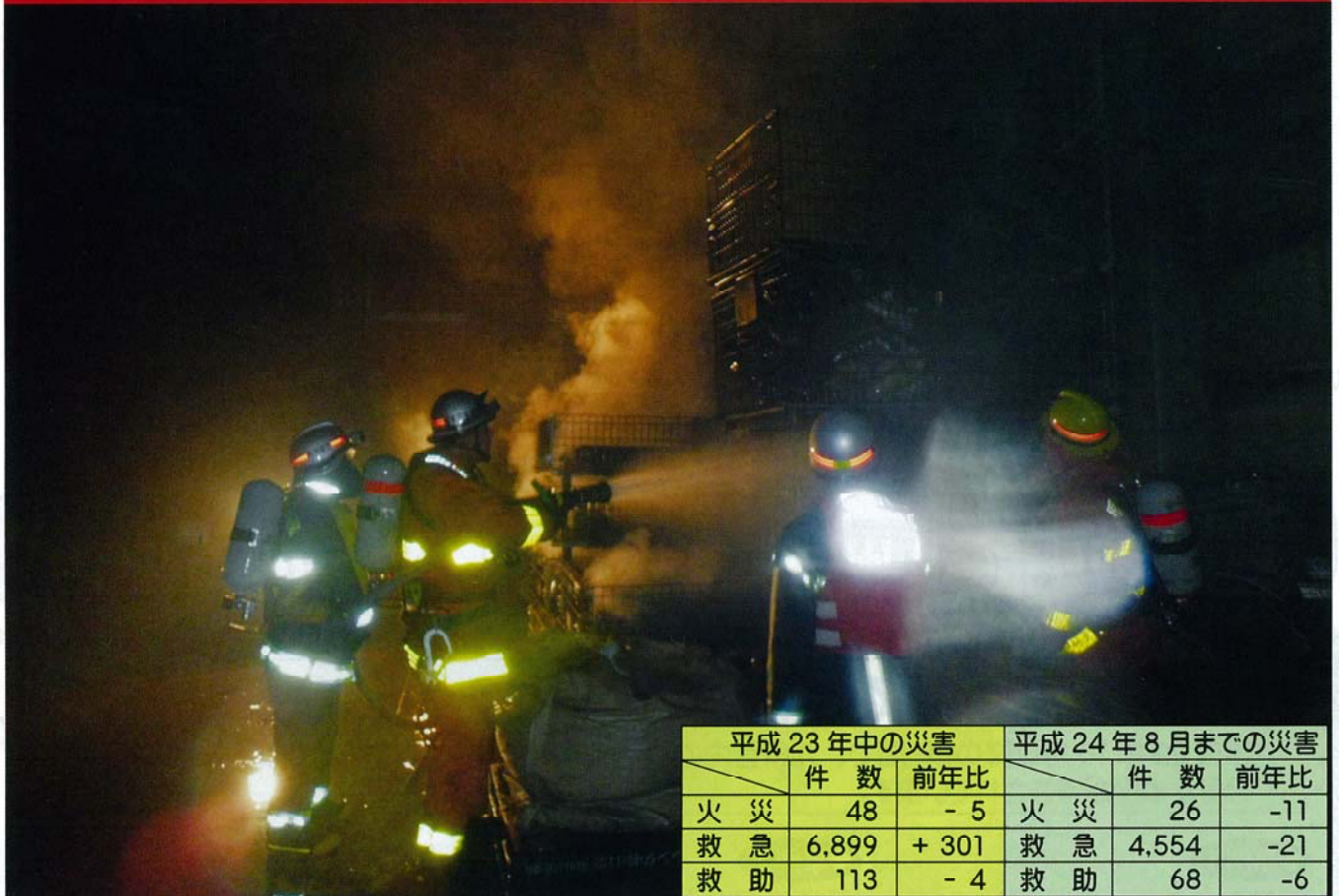


広報 うきしょうぼう

No.50 平成24年10月発行
編集・発行：宇城広域連合消防本部
〒869-0419
宇土市新松原町 159-1
TEL 0964(22)0554
FAX 0964(22)0270
協力：宇城管内消防団

火災は たいせつな命や財産を 一瞬に奪います



平成 23 年中の災害			平成 24 年 8 月までの災害		
	件 数	前年比		件 数	前年比
火 災	48	- 5	火 災	26	-11
救 急	6,899	+ 301	救 急	4,554	-21
救 助	113	- 4	救 助	68	-6

秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

火の用心 7つのポイント



**消すまでは
出ない行かない
離れない**

平成 24 年度全国統一防火標語

大切な命と財産を守る住宅用火災警報器!!

平成 23 年 6 月 1 日からすべての住宅に設置が義務付けられています

あなたの家にはいくつ必要ですか？

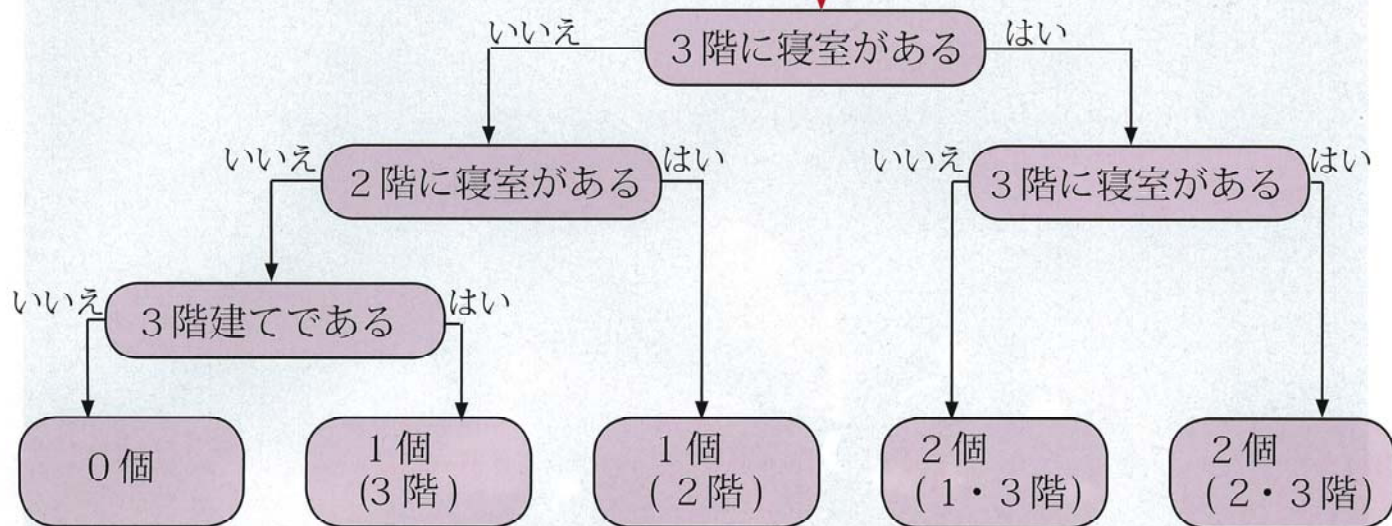


①階段の設置個数 個	+	②寝室の数 部屋	+	③廊下の設置個数 個	=	必要な設置個数 個
---------------	---	-------------	---	---------------	---	--------------

※階段の設置個数はこちらでわかります

※居室が 5 以上ある階は、廊下も設置が必要です。

※台所は、義務ではありませんが設置をおすすめします。



警報器 付けてて良かった 助かった!!

平成 22 年 10 月以降の2年間で、九州管内では約 200 件、宇城管内では 5 件の奏功事例が報告されています。



◆事例1

平成 22 年 3 月 午後 11 時頃 宇城市

ガスコンロに鍋をかけたまま寝込んだ間にカレーが焦げ煙が発生。居間兼寝室に設置していた住宅用火災警報器が作動し、帰宅途中の隣人が警報音に気づき、家人に声をかけたが返事がなかったため、119番通報し部屋に入り、ガスコンロの火を消したため大事に至らなかった。

◆事例2

平成 23 年 8 月 午前 9 時頃 宇土市

引き込み電線に雷が落ち、2階寝室のエアコンの配線がショートして燃えだした。落雷時には男性 1 名がいたが、異常には気付かず外出しようとしたところ、火災警報器の音に気付いて寝室に行き、エアコンから天井に火が移ろうとしていたので、急いで消火器で消し止め難を逃れた。

◆事例3

平成 24 年 6 月 午後 7 時頃 宇城市

自宅で男性が寝ていたところ、寝ていた部屋の住宅用火災警報器がいきなり鳴り出したため確認したところ、仏壇付近から火が出ていたが、手がつけられる状態ではなかった。家は全焼したが、1週間前に設置した住宅用火災警報器によって逃げ遅れることなく助かった。

奏功事例を教えてください!!

宇城広域連合消防本部では、住宅用火災警報器を設置していたことにより、大事に至らなかった事例（奏功事例）を探しています。ご連絡は、住所、氏名、連絡先と、奏功事例の日時、その時の状況を出来るだけ詳しくご記入の上、以下の宛先まで郵送してください。情報をご提供いただいた方には、住宅用火災警報器（1個）を差し上げます。

郵送（連絡）先：〒869-0419 宇土市新松原町159-1 宇城広域連合消防本部予防課予防係
お問合わせの電話番号 0964(22)6222

第29回熊本県消防操法大会が開催されました

平成24年8月26日(日) 大矢崎緑地公園特設会場(天草市本渡町広瀬)



8月26日、天草市において第29回熊本県消防操法大会が開催されました。この大会は、迅速かつ的確な技術の習得により、消防団員の士気と消防精神の高揚を図り、市民、町民生活の安全を資することを目的に実施されました。暑い日差しが照りつける中、県内からポンプ車の部12チーム・小型ポンプの部28チームが参加し、それぞれに日頃培った訓練の成果を競い合いました。宇城地区からは、ポンプ車の部では、宇土市(走瀉町)・美里町(堅志田) 小型ポンプの部では宇土市(轟地区)・宇城市(豊野町)・美里町(原町・永富・二和田)が出場し、多くの関係者の見守る中、宇城地区代表として素晴らしい操法を披露、選手の息のあった競技に大きな声援が送られました。消防団は私たちの安全な生活を守る上で、なくてはならない頼もしい存在です。地域の皆さんのご理解と温かいご声援が消防団のエネルギーです。

ポンプ車の部		小型ポンプの部	
4位	美里町	3位	宇城市
6位	宇土市	15位	宇土市
		20位	美里町

過去に例を見ない大雨



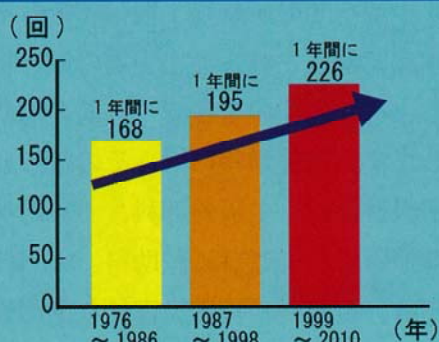
平成24年7月12日に発生した大規模土石流(阿蘇市坂梨地区)

九州北部豪雨災害



ここ数年、集中豪雨や地震などの自然災害が全国各地で多発しています。本年7月11日から14日にかけて九州北部を襲った集中豪雨は各地に甚大な被害をもたらし、特に阿蘇地方では12日未明に発生した大規模な土石流や河川の氾濫により23名の犠牲者と2名の行方不明者をもたらす大惨事となりました。大雨による災害は、地震と違い報道関係が発表する気象情報などで、ある程度の災害発生が予測でき、災害に備える事が可能です。災害から、身を守るためには一人ひとりが「自分たちの命は自分で守る」という心構えで、災害に対して常に関心を持ち、いざという時に備えて日頃から準備し、災害にあっても落ち着いて行動することが大切です。また、避難勧告や避難指示がだされた時、身の危険を感じた時には指定された避難所へ速やかに避難しましょう。まずはできることから始めて災害に備えましょう。

1時間降水量50mm以上の年間発生件数





宇城消防管内のヘリの離発着場

宇城市

岡岳グラウンド（松橋町）
熊本南病院（松橋町）
南消防署（松橋町）
三角東港（三角町）
松前会館（三角町）
済生会みすみ病院（三角町）
観音山グラウンド（小川町）
不知火グラウンド（不知火町）
天の平農村グラウンド（不知火町）
九州ショーワ（豊野町）

宇土市

宇土市民グラウンド
宇土マリーナ
網田分署
宇土市防災センター

美里町

緑川ダム（補助ダム）
美里町役場中央庁舎
カントリーパーク

熊本市南区城南町

アイシン九州

空から暮らしの安全を守る

～場外ヘリ離発着場について～

熊本県では、重篤で生命に危険のある傷病者を迅速に搬送し救命率を向上させるために、平成13年7月から救急救命士が搭乗し、救助と救急を任務とする「熊本県防災消防ヘリコプターひばり（防災ヘリ）」を運航しており、運航実績は昨年（平成23年）は404件と全国でも上位に入っています。年々増加する迅速搬送の要求と、更なる救命率の向上のために本年（平成24年）1月から、医師が搭乗しヘリコプターの中で医療行為を行うことができる「ドクターヘリ」も加わり、現在2機体制で空から県民の暮らしを守っています。ヘリの出動は、119番通報を受けた消防が必要性を判断し要請します。今年1月から8月までの宇城管内での要請は、防災ヘリが10件、ドクターヘリが28件です。

ヘリの離発着時には、プロペラの回転による強い吹き下ろしの風（ダウンバースト）が発生し、近づく大変危険です。ヘリの離発着場には、消防隊が出動し安全の確保を行いますので、消防隊の指示に従ってください。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

～見て・聞いて・体験して～

うき防災フェア'13 in 宇城のお知らせ



宇城広域連合消防本部では、住民の皆様の防火防災についての理解を深めるために、毎年管内市町を巡回し「うき防災フェア」を開催しています。第12回目の今回は宇城市において以下のとおり行います。当日は、熊本県のマスコットキャラクター「くまモン」も参加予定です。プレゼントも沢山用意して、皆様の多数のご来場をお待ちしています。

期日：平成25年1月12日（土）09:50 から 13:00 まで

場所：宇城市役所新館・駐車場

主なイベント

- 幼年消防クラブによる和太鼓演技
- くまモン体操
- 防災消防ヘリコプター合同の救急・救助・消火訓練
- 炊き出し訓練
- 大声コーナー
- 煙体験コーナー
- 災害伝言ダイヤル
- 住宅耐震相談コーナー
- 自衛隊・警察・消防車両展示コーナー
- スタンプラリー
- 消火訓練コーナー
- お楽しみ抽選会 など

教えて・・・消防学校

消防学校は、消防組織法の規定により設置された消防職員及び消防団員の教育を行う機関です。消防職員は、4月に採用された後、熊本県消防学校の初任科に入校し、4月から9月まで、法律、火災、救急、救助など消防に必要な基礎知識と、災害現場で必要とされる技術と体力を磨きます。全寮制での6か月の教育訓練は、時として過酷で身も心も折れそうになりますが、チームで行動し一人ひとりが励まし助け合う団結力と強い精神力を養成します。半年間の研修修了後は、それぞれの消防本部で配属され、災害現場の第一線で活躍する上司、先輩のもとで一人前の消防士を目指します。消防学校には、その後の研修として初級幹部科、中級幹部科、上級幹部科などの幹部研修と、救急科、救助科、予防査察科、危険物科、警防科、特殊災害科などの専科研修があります。